

みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院群

言語聴覚士・作業療法士・理学療法士

卒後臨床研修プログラム

1) 教育理念

地域医療の担い手として、地域住民とともに、確かな臨床力と人権意識、健康増進の意識を備えた言語聴覚士・作業療法士・理学療法士を育成します。

2) 目的

- ・ 日本医療福祉生活協同組合の基本理念に基づき課せられた社会的役割を十分理解し、みえ医療福祉生活協同組合の一員として自覚を高め、責任ある行動が自律的にとれる人材を育成します。
- ・ 患者、利用者の立場に立ち、保健・医療・福祉の幅広い職種と対等平等の関係でチームを構築し、言語聴覚士・作業療法士・理学療法士の能力を発揮できる力を身につけます。
- ・ 障害を持つ人や障害を持つ恐れのある人たちの問題点に気づき、考え、問題解決ができる臨床力を育てます。

3) 目標

- ・ 初期研修（研修期間：1年～3年）

臨床問題解決のための抽象化、整理・要約、集合、比較、推理、直感的着眼、因子順列ができ、臨床研修制度（初期）の終了で修士入学レベルを目指します。

4) 卒後臨床研修プログラム

制度研修

医療福祉生活協同組合の理念教育などは、三重民主医療機関連合会から提供される教育プログラムに沿って行います。

個別研修

臨床経験年数を前提に個々のペースやキャリア形成に合わせた指導を行います。

・ 指導体制

- * 個々の対象者それぞれに1人の研修担当者を配置します。（2年目以降は要相談）
- * 研修担当者への指導は、必要に応じて職責者と研修担当者が相談しながら行います。

* 日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会の研修プログラムにも参加は可能です。（例：宿泊を伴う参加費保証などは入職3年目以上です；津生協病院規定）

・研修内容

1. 業務過程教育（言語聴覚士・作業療法士・理学療法士；共通）

○業務マニュアルに従い、日々の業務を支障なく遂行できるように指導を行います。

○健康づくり教室、班会活動、津生協病院附属診療所・いくわ診療所の訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの現地体験、研修を行うことも可能です。

○日々の担当患者様、利用者に関する障害評価、治療トレーニングの相談などは臨床研修担当者と相談（実技含む）しながらフォローしていきます。

2. 必修プログラム（言語聴覚士・作業療法士・理学療法士；共通）

○症例Ⅰ（60分×5回）

研修の目標及び期待される学習効果：評価の流れを再確認する。復習

研修の概要：4大疾患、摂食嚥下機能障害の症例をまとめて発表する

研修に関して期待すること：国試レベルの知識の確認と評価の再確認すること

○臨床評価学（90分×15回）

研修の目標及び期待される学習効果：評価の思考過程を理解する

研修の概要：情報収集、全体像、検査・測定、動作観察・分析、問題点、治療プログラム、ゴールを理解する

研修に関して期待すること：臨床評価とは何か、を理解できること

○症例Ⅱ（60分×10回）

研修の目標及び期待される学習効果：焦点を絞って症例報告する

研修の概要：症例検討

研修に関して期待すること：

学会などで症例報告ができること



3. 選択プログラム

○高次脳機能障害学（90分×10回）

研修の目標及び期待される学習効果：高次脳機能の項目を確認し、各項目の意味を理解でき、検査データを解釈できる

○介護保険制度について（60～90分×15回）

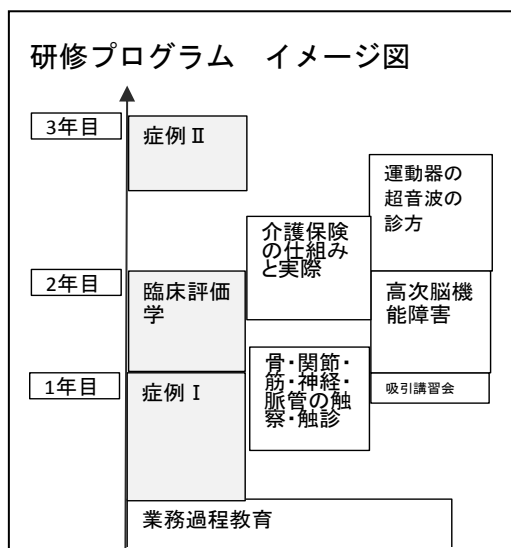
現場の介護支援専門員や介護福祉士などによるオムニバス形式で行い、介護保険制度の理解の一助とします。

○運動器の超音波の診かた

○吸引講習会（医師、専門・認定理学療法士、呼吸療法認定士、看護師が講師）

- ・理学療法士等に必要呼吸管理の基礎知識（60分）
- ・呼吸リハビリテーションと呼吸理学療法の実際（90分）
- ・排痰法に必要な呼吸理学療法の基本手技（90分）
- ・吸引が必要な呼吸器疾患の病態整理と胸部の評価（90分）
- ・吸引法の基礎知識と吸引機器の取扱法と吸引法実習（80分）

○骨・関節・靭帯・筋などの触診・触察（60～90分×15回）



Practice 2	担当
肩関節靭帯	PT
・胸鎖関節(靭帯)	
・肩鎖関節(靭帯)	
・鎖骨間靭帯	
・肋鎖靭帯	
・烏口鎖骨靭帯	
・烏口肩峰靭帯	
Practice 3	
肩関節の筋	PT
・僧帽筋	
・菱形筋(大・小)	
・肩甲挙筋	



5) 最後に

卒後臨床研修プログラム（初期）は、院内、三重民主医療機関連合会主催の学術運動交流集会（年1回）での発表や各専門分野の学会発表、初期研修者の満足度などで効果検証され、適宜修正されていきます。また、個々の言語聴覚士・作業療法士・理学療法士（中途採用者含む）の到達度、本人希望、キャリア形成に合わせたオーダーメイド卒後臨床研修プログラムも相談しながら作成できます。さらに、中期研修、専門研修は、キャリア形成に合わせた卒後臨床研修プログラムを相談しながら検討していきます。